

カメラ取付位置について

2009年1月1日以降に製作された乗車定員10人未満の乗用車に車載カメラ等の外装品を取り付ける際、国土交通省公布の「外装の技術基準※」に準拠した取り付けが必要となります。取付位置に一部制限が発生する場合がありますので、ご注意ください。

外装の技術基準※(抜粋)

自動車の外部には、衝突時又は接触時に歩行者に傷害を与えるおそれのある形状、寸法、方向又は硬さを有するいかなる突起も有してはならない。

対象車種

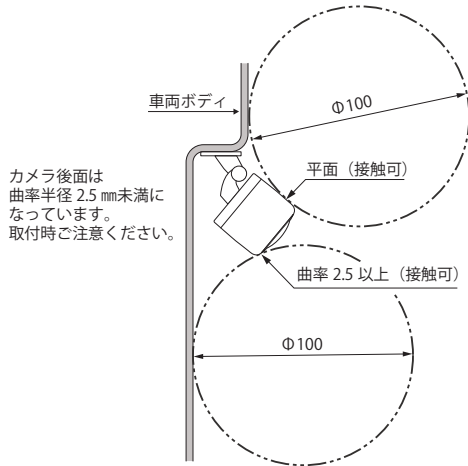
2009年1月1日以降に製作・登録された乗用車。(乗車定員10人未満の、専ら常用の用に供する自動車)

※法規について、詳しくは国土交通省のホームページをご参照ください。

国土交通省 ホームページ <http://www.mlit.go.jp/index.html>

本製品のカメラ前面部は、曲率半径が2.5mm以上となっておりますが、取付場所や取付方法によっては「外装の技術基準※」に準拠しない場合がありますのでご注意ください。

推奨取付例



カメラ後面は曲率半径2.5mm未満となっております。取付時ご注意ください。

ナンバープレート周辺部等の車両の凹部
ナンバープレートの邪魔にならない
位置に取付けてください。

適応外となる部位

下記状況位置の場合は取付けが可能です。

- 乗車定員10人未満の乗用車以外の車両
- 高さが2M以上の位置
- フロアラインより下の位置に取り付け
- 直径100mmの球体が接触しない位置
- 接触部曲率半径が2.5mm以上となっている場合
- 突出量が5mm未満で突起の外向き端部に丸みが付いている場合
- 突出量が1.5mm未満の場合
- 突起の硬さが60シヨア(A)相当以下となっている部分

製品保証書

保証期間 ご購入日より1年間

ご購入日 年 月 日

当保証書を、ご購入日とご購入店を証明できるレシート又は領収書などと共に大切に保管してください。

無料保証規定

- 1、正常な使用状態で故障した場合には保証期間内において無料修理いたします。
- 2、ご購入日、ご購入店を証明できるレシート又は、領収書、明細書等がない場合、有償修理となります。
- 3、取り付け、取り外しに掛る費用、または、その他の商品代金以外の費用については保証外となります。
- 4、新品交換の際、同一製品が生産終了等で交換不可能な場合は、同等機種の製品に交換させて頂く場合もございます。
- 5、商品取り付け後は、いかなる場合においても返金等、商品交換以外の対応は致しかねます。
- 6、保証期間内でも、お客様の使用方法や、取り付け方法の誤り、及び不当な修理や改造による故障・損傷。火災や塩害、地震等その他天災地変、公害等による故障・損傷。弊社設計時想定外での使用による故障・損傷。などが、弊社点検において明らか場合は有償修理となります。
- 7、本保証書を紛失された場合は、有償修理となります。
- 8、本保証書は日本国内においてのみ有効です。

株式会社 FINE TRADING JAPAN

glafit.

車載用カメラ EC1033

取扱説明書 兼 保証書

この度は、当製品をご購入頂き誠にありがとうございます。

ご使用前に必ず取扱説明書をお読みになり正しくお使い下さい。



安全上のご注意


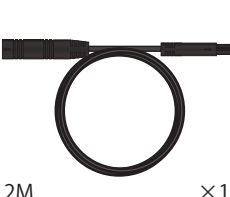
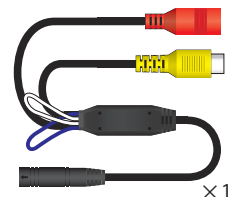
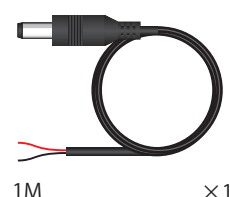

- 本製品は12Vマイナスアース専用商品です。
- 作業前に、必ずバッテリーのマイナス(-)端子を外す。
- コード類は、運転を妨げないように引き回す。
- 作業後は、車の電装品の動作確認をする。
- 取り付けは、自動車用品取付け知識・技術のある方が必ず行ってください。自信のない方は取り付けしないでください。
- 車外と車内の配線の取り回しは必ず必要な防水加工をしてください。室内への水漏れの原因となります。
- カメラは防水ですが、完全防水の保障をするものではありません。出来る限り水の掛からない場所へ取付けをお願い致します。

使用上のご注意

- モニターとバックカメラを取り付けしても、バックの際は、バックミラー、目視を必ず行ってください。モニターだけを見てのバックは大変危険です！
- カメラは防水ですが、自動車洗車機(高圧水)による洗車は行わないでください。
- 故障や異常な状態のまま使用しない。

セット内容

万一、不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

 ×1	 ×1	 ×1	 ×1
カメラ本体 (カメラブラケット付)	延長ケーブル	中継ケーブル	電源ケーブル
 ×1	 ×1	 ×1	
映像ケーブル	両面テープ	取扱説明書 兼 保証書	

12V 電源専用

本商品は 12 電源線用です。
トラックや重機などの 24V 車に接続できません。

車の ACC 電源
またはリバース電源へ

赤：電源プラス線

電源マイナス線
またはボディーアース

黒：マイナスアース線

※ボディーアースに接続する場合は、塗装などが施されていない、
金属地が露出している箇所に接続してください。

電源コードの接続は使用用途に応じて接続してください。

【例 1】リバース連動（バック連動）でカメラを起動させたい場合

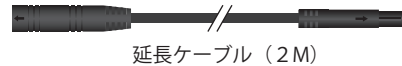
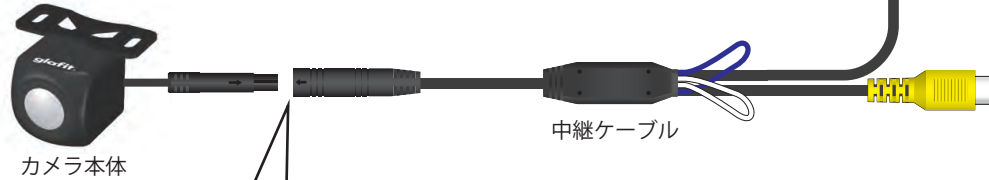
→バックランプのプラス線に [赤：電源プラス線] を接続

→バックランプのマイナス線に [黒：マイナスアース線] を接続

【例 2】エンジンスイッチが ACC ポジションの時カメラを起動させたい場合

→車両 ACC 線に [赤：電源プラス線] を接続

→電源マイナス線またはボディーアースに [黒：マイナスアース線] を接続



延長ケーブル（2M）

カメラ本体設置位置から中継ケーブルまでの
距離が長い場合は必要に応じて
延長コードを間に接続してください。

お願い

カプラは確実に挿し込んでください。



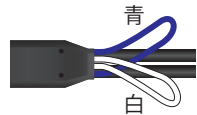
矢印が合って
しっかり奥まで挿し込まれている



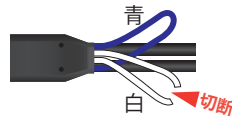
矢印がずれていたり、
しっかり奥まで挿し込まれていない

カメラ機能設定方法

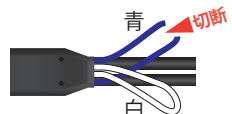
ガイドライン：有
鏡像：バックカメラ用



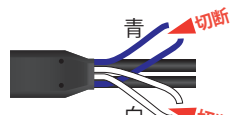
ガイドライン：無
鏡像：バックカメラ用



ガイドライン：有
正像：フロントカメラ等用



ガイドライン：無
正像：フロントカメラ等用



※配線を切断した後は、絶縁テープ等で
切断端部を絶縁処理してください。

リバース連動機能について

HDDナビや、純正ナビなど、一部のナビでは、ナビ設定画面
にてカメラの認識設定を行っていただく必要があります。
詳しい設定方法はナビにより異なりますので各メーカーサ
ポートにお問い合わせください。

リバース連動（バック連動）はナビ側の機能になります。
機能を有効にする為には、ナビにリバース線が接続されて
いる必要があります。

シフトをリバースに入れても画面が切り替わらない場合は、
ナビの設定と、リバース（バック信号）の接続確認を行って
ください。

カメラ映像信号は NTSC です PAL 専用モニターでは使用できません

映像信号には [NTSC 方式] と [PAL 方式] があります。
本製品から出力される映像方式は [NTSC] です。
日本国内メーカモニターは [NTSC] が標準です。
海外メーカモニターには [NTSC] と [PAL] 両対応に
なっているモニターもございます。
[PAL] 専用モニターでは映像が正常に映りません。

ナビ または モニター



トラブルシューティング

カメラ映像が映らない

リバース連動でナビまたは、モニターと接続している。	NO	お買い上げの販売店にご相談ください。
YES		
シフトをリバースにいれると画面の切替はする。	NO	ナビの設定とリバース線の配線をご確認ください。
YES		
各ケーブルの接続は正しく確実に接続されている。	NO	配線を確認して、動作確認してください。
YES		
お買い上げの販売店にご相談ください。		

映像が安定しない

昼間の明るい時でもちらついている。	NO	蛍光灯などの下ではちらつくことはあります。
YES		
エンジン OFF の時もちらつく。	NO	電源ノイズの可能性がります。
YES		
各ケーブルの接続は正しく確実に接続されている。	NO	配線を確認して、動作確認してください。
YES		
お買い上げの販売店にご相談ください。		